

# 北海道浮魚ニュース

令和 7(2025)年度 2 号

2025 年 5 月 27 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ

[https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo\\_news.html](https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo_news.html)

## ◎5 月浮魚類分布調査

### 道東沖の調査範囲内には浮魚の反応は見られず

ロシア主張 200 海里内でのさけ・ます流し網漁業の代替として始まったサバ・イワシ棒受網漁業へ漁場情報を提供するための調査を実施したのでお知らせします。

- ・ 調査期間：2025 年 5 月 8～16 日
- ・ 調査方法：計量魚群探知機による魚探反応量の計測  
CTD, XCTD による海洋観測  
NEAR-GOOS\*表面水温 (5 月中旬) の解析  
※NEAR-GOOS 地域リアルタイムデータベース  
[http://ds.data.jma.go.jp/gmd/goos/data/rtrdb/data\\_usage\\_J.html](http://ds.data.jma.go.jp/gmd/goos/data/rtrdb/data_usage_J.html)
- ・ 調査海域：道東太平洋海域

#### 1. 水温分布 (図 1)

調査海域の大部分が親潮に覆われていますが、北緯 41 度 45 分、東経 145 度 15 分付近を中心に暖水塊が分布していました。表面水温は 5～9℃台です。

#### 2. 計量魚探調査 (図 1)

一平方マイル当たりの反応量 (NASC) は最大でも 1,000m<sup>2</sup>/nmi<sup>2</sup> 未満で、昨年同期と同様に大きな反応はみられませんでした。調査海域北側の海域では比較的多くの魚群の反応がみられましたが、水温が低いことから、サバ・イワシ類の反応ではないと考えられます。暖水塊の位置する南側の海域では計量魚探による反応量は皆無であったため、表層における魚の生息密度は非常に低いと考えられます。

#### 3. 表層トロール調査での漁獲尾数 (表 1、図 1)

調査期間中、IW01～IW03 の 3 か所で表層トロール調査を行いました。最も多く漁獲されたのはスケトウダラ (尾叉長 397mm～582mm) でした。調査の主対象である浮魚類は、カタクチイワシが 1 尾 (体長 86mm) のみでした。

表 1 2025 年 5 月浮魚類調査におけるトロール調査結果

調査点 番号	調査日	位置		水温			漁獲尾数(尾/時間)			
		北緯	東経	表面	20m	50m	マイワシ	サバ類	カタクチイワシ	スケトウダラ
IW01	5/14	41-50	146-00	6.4	4.1	2.4	0	0	0	23
IW02	5/15	41-46	145-00	9.3	9.1	8.7	0	0	1	1
IW03	5/15	42-29	145-00	7.7	6.1	4.3	0	0	0	1
合計							0	0	1	25

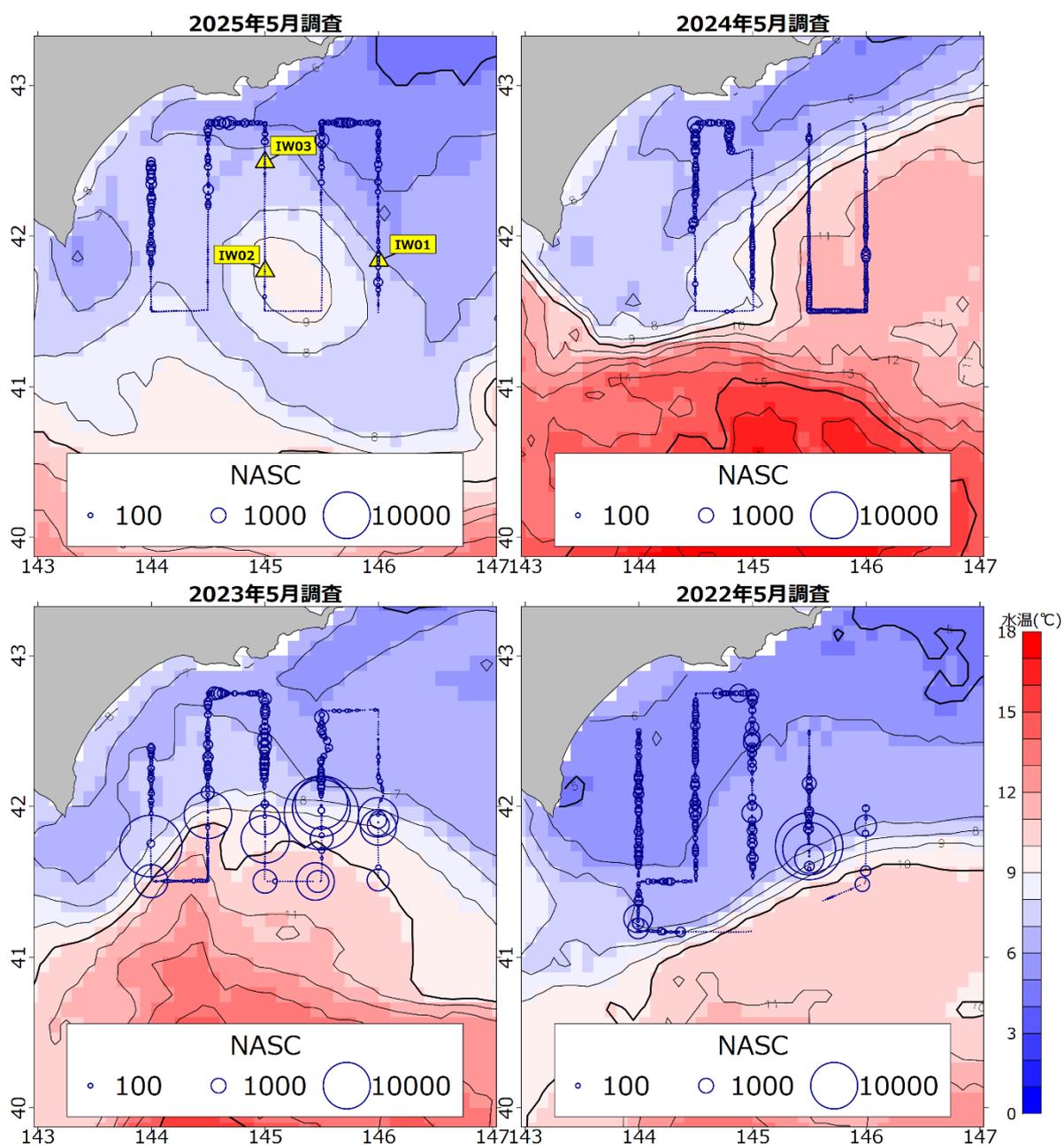


図1 5月浮魚類調査時の計量魚探反応量と表面水温および2025年調査の漁獲調査点  
 (表面水温：NEAR-GOOS 旬平均値 (5月中旬)、NASC：1平方マイルあたりの魚探反応量、黄色の三角形：漁獲調査点)

北辰丸 海洋観測速報 <https://hro-fish.net/hokushin/>  
 (釧路水産試験場試験調査船北辰丸の海洋観測結果がご覧になれます。)

お問い合わせ先：釧路水産試験場調査研究部，TEL:0154-23-6222  
 FAX:0154-23-6225